

参 考 资 料

用語の解説

【アルファベット】

○LDLコレステロール

肝臓で作られたコレステロールを全身に運ぶ働きがあり、増えすぎると動脈硬化を起こすので、悪玉コレステロールと言われる。

○QOL

Quality of life の略。個人が生活する文化や価値観のなかで、目標や期待、基準または関心に関連した自分自身の人生の状況に対する認識。

○t-PA

tissue Plasminogen Activator の略。適応のある脳梗塞症例に対し、発症後 4.5 時間以内に静脈内投与することにより、脳梗塞を改善させる血栓溶解薬で、近年、脳梗塞の標準的な治療法となりつつある。

【あ行】

○アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning : 略称は ACP) 意思決定能力低下に備えての対応プロセスのこと。(今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのこと。)

【か行】

○介護支援専門員(ケアマネジャー)

介護保険において要支援・要介護と認定された人に対して、アセスメントに基づいたケアプランを作成し、ケアマネジメントを行う者。介護全般に関する相談援助・関係機関との連絡調整・介護保険の給付管理等を行う。

○回復期リハビリテーション

脳卒中などの急性期が過ぎ比較的安

定した時期に入り、在宅復帰及び社会復帰を目的とした日常生活動作(ADL)の向上を集中的に行うリハビリテーション。

○かがわ医療情報ネットワーク (K-MIX R)

患者のカルテなどの診療情報を病院、診療所、薬局の間で共有し、がんなどの遠隔読影診療などの治療に役立てるもので、紹介等を通じた円滑な連携の促進、アレルギー等の情報の共有、検査等の重複実施、薬剤の重複投与の抑制などを実現し、地域全体の診療の質の向上を図るもの。

○香川県メディカルコントロール協議会

病院前救護体制の構築について研究を行う県内の医療機関や消防機関等で構成する協議会であり、その傘下に、香川県メディカルコントロール協議会検討部会を設置しており、病院前救護体制に係る諸問題の具体的な調査・検討を行っている。

○家族性高コレステロール血症

生まれつき血液中の悪玉コレステロールである、LDLコレステロールが異常に増えてしまう病気で、適切に治療がなされないと、幼い頃から動脈硬化が進行して、小児期に心筋梗塞などの病気を発症する。

○緩和ケア

患者・家族の療養生活の質の向上のため、がん患者等の身体的苦痛(疼痛)及び精神的苦痛(恐怖、不安)、社会的な不安(仕事や経済面での不安)を和らげる医療。

○救急医療機関(初期・二次・三次)

救急病院等を定める省令に基づき、県知事が認定した医療機関。

○救急救命士

厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、救急救命処置を行うことを業とする者。

○救命救急センター

相当数の専用病床を有し、24時間体制で、重症及び複数の診療科にわたるすべての重篤な救急患者に対する高度な診療機能を有するもの。

○虚血性心疾患

心臓のまわりを通っている冠動脈が動脈硬化などの原因で狭くなったり、閉塞したりして心筋に血液が行かなくなる（心筋虚血）で起こる疾患。

○圏域

一般の医療需要に対応した入院医療を、基本的に区域内で確保する二次保健医療圏のこと。

香川県では、東部保健医療圏、小豆保健医療圏、西部保健医療圏の3つの二次保健医療圏を設定している。

ただし、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、救急医療については、大川、小豆、高松、中讃、三豊の5圏域で、在宅医療は各市町単位で設定している。

○健康寿命

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。平均寿命が「何年生きられるか」という指標であるのに対し、「自立して健康に暮らす」という生活の質を捉えた指標。

○口腔機能リハビリテーション

病気、障害、老化などで動きが低下した口の機能の回復や、これ以上の低下を防ぐことを目的に行う口のリハビリテーション。

○口腔ケア

狭義には、口腔衛生の改善のためのケア（口腔清掃）を指すが、最近では、広義として摂食・咀嚼・嚥下訓練まで含められた、日常のケアとして多職種と共同で行う行為を指す。

○高次脳機能障害

脳梗塞やくも膜下出血等の脳血管障害や、交通事故等による外傷性脳損傷などを原因として、脳が損傷されたことによって、後天的に起きる認知障害。

【さ行】

○歯周病

細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患で、歯の周りの歯ぐき（歯肉）や、歯を支える骨などが溶けてしまう病気。

○自動体外式除細動器（AED）

心筋梗塞などにより生命の危険がある不整脈が起こった場合に、除細動が必要かどうかを自動的に判断し、心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための機器。医療従事者でなくても使用でき、救命効果が優れている。

○受療率

厚生労働省が3年ごとに行う、全国の医療施設を利用する患者の傷病の状況等を調査した患者調査において、推計患者数を人口10万対で表した数。

○小児生活習慣病予防健診

小児の生活習慣病の予防のため、県内の市町等が小学生及び中学生を対象に行っている血液検査等の健診。

○心臓リハビリテーション

心疾患の患者の体力や自信を取り戻し、快適で活動的な家庭生活や社会生

活に復帰するとともに、病気の再発や再入院を予防することをめざして行うプログラム。患者に合わせた運動療法・薬物治療・栄養療法・生活指導などを包括的に行う。

○心肺蘇生

病気やけがなどで突然、呼吸停止、心肺停止の状態に陥ったとき救命させるため行われる応急手当。

○心不全

心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気。

○生活習慣病

がん、心臓病、脳卒中、高血圧症、脂質異常症、肥満症、歯周病など食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与すると考えられる疾患。

【た行】

○地域医療構想調整会議

都道府県が構想区域ごとに設ける、診療に関する学識経験者の団体その他の医療関係者、医療保険者その他の関係者との「協議の場」の名称。地域医療構想の推進の方策等について協議する。

○地域ケア会議

地域包括支援センターまたは市町が主催・設置・運営する行政職員と介護サービス事業者、医療関係者、民生委員等で構成する会議。個別ケースを多職種で多様な視点により検討し、課題解決を支援する「地域ケア個別会議」と、地域課題の把握、政策形成等につなげる「地域ケア推進会議」とがある。

○地域連携クリティカルパス

複数の医療機関同士の間で、共通の

治療計画書に従って治療を行うシステムであり、急性期病院から回復期病院へと転院する場合などに、パスを引き続き活用するもの。これにより、医療機関等ではそれぞれの役割分担に応じた診療やリハビリを担い、県民や患者にとっても、安心して医療を受けることが可能になる。

○特定健康診査・特定保健指導

40歳から74歳までの公的医療保険の加入者を対象としたメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群、生活習慣病の発症前の段階）に着目した健診（特定健康診査）。状態に応じて保健指導（特定保健指導）が行われる。

○ドクターヘリ

救急医療に必要な機器及び医薬品を装備したヘリコプターであり、医師および看護師が同乗して救急現場に向かい、現場から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行うことができる専用のヘリコプターをいう。

【な行】

○年齢調整死亡率

年齢構成の違いに影響されない比較をするため年齢構成を調整した死亡率。

○脳卒中

脳や首、胸の血管が詰まったり、破れて、脳細胞への血液の供給が不足して生じる脳の機能障害全般を脳血管障害といい、その急性発症を脳卒中という。

香川県循環器病対策推進協議会名簿

氏 名	現 職	備考
安藤 幸代	香 川 県 看 護 協 会 会 長	医療又は福祉
家高 順一	心 臓 病 経 験 者	循環器病患者
大原 昌樹	香 川 県 医 師 会 常 任 理 事 (綾川町国民健康保険陶病院長)	医療又は福祉
河内 正光	香 川 県 立 中 央 病 院 長	医療又は福祉
川西 正彦	香川大学医学部附属病院病院准教授	医療又は福祉
久米川 啓	香 川 県 医 師 会 会 長	医療又は福祉
合田 智代	香 川 県 保 険 者 協 議 会 (高松市健康づくり推進課課長補佐)	保 健
高橋 謙一	香 川 県 理 学 療 法 士 会 会 長	医療又は福祉
田 宮 隆	香 川 県 脳 卒 中 対 策 推 進 委 員 会 委 員 長 (香川県厚生農業協同組合連合会代表理事理事長)	学 識 経 験 者
西村 和修	高 松 赤 十 字 病 院 長	医療又は福祉
廣瀬 友彦	香 川 県 医 師 会 常 任 理 事 (広瀬病院 院長)	救 急 業 務
三谷 美奈子	脳 卒 中 経 験 者	循環器病患者
南野 哲男	香 川 県 循 環 器 病 対 策 推 進 委 員 会 委 員 長 (香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学教授)	学 識 経 験 者
三野 安意子	香 川 県 栄 養 士 会 会 長	学 識 経 験 者
宮滝 寛己	香 川 県 教 育 委 員 会 保 健 体 育 課 課 長	そ の 他

香川県循環器病対策推進協議会部会名簿

部会名	役職	氏名	所属	職種
脳卒中部会	部会長	川西 正彦	香川大学医学部附属病院脳神経外科病院准教授	医師
	委員	市川 智継	香川県立中央病院脳神経外科部長	医師
		植木 昭彦	香川医療生活協同組合高松協同病院副院長 リハビリテーション科・内科	医師
		大山 英郎	おさか脳神経外科病院循環器内科部長	医師
		香川 昌弘	高松赤十字病院 脳神経外科部長(兼)総合血管治療センター副センター長	医師
		斉藤 信幸	三豊総合病院脳神経外科主任部長	医師
		庄野 健児	高松市立みんなの病院脳神経外科	医師
		田岡 知代	香川県理学療法士会 (おさか脳神経外科病院リハビリテーション科)	理学療法士
		平下 浩司	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院 脳神経外科	医師
		小倉 永子	中讃保健福祉事務所	医師
心疾患部会	部会長	南野 哲男	香川大学医学部附属病院 循環器・腎臓・脳卒中内科教授	医師
	委員	赤松 美雪	香川県教育委員会保健体育課	管理栄養士
		石川 かおり	香川大学医学部附属病院 総合内科	医師
		大田 真由美	香川県立中央病院 (慢性心不全認定看護師)	看護師
		大森 浩二	J C H O り つ り ん 病 院 長	医師
		土井 正行	香川県立中央病院循環器内科主任部長	医師
		堀井 泰浩	香川大学医学部附属病院 心臓血管外科	医師
		宮崎 慎二郎	香川県理学療法士会 (国家公務員共済組合連合会高松病院)	理学療法士
		横井 英人	香川大学医学部附属病院 医療情報部	医師
横山 勝教	小豆総合事務所	医師		